



スーパーグローバル大学創成支援 (グローバル化率引型)

「日本発ワールドクラスリベラルアーツカレッジ構想」

公立大学法人 国際教養大学

構想責任者  
学長 鈴木典比古

# 構想全体概念図

10年後の国際教養大学（AIU）  
日本発ワールドクラスリベラルアーツカレッジへの進化  
日本に軸足を据え、世界で活躍する人材育成

ワールドクラスになるための  
4つの教育環境整備

## ① 24時間リベラルアーツ教育の推進

- テーマ別ハウス群導入
- 学生によるテーマ設定と企画運営  
留学生と協働  
例：メディアハウス、日本文化ハウス
- テーマ別ハウス間交流
- 学生主導による学びあう文化の確立・  
深化
- リーダーシップ力強化

## ② 世界標準カリキュラム

- デュアルアセンブリーライン・  
カリキュラム
- 世界標準へ科目調整
- 英語で日本を勉強する拠点（日本学  
修センター開設）
- 留学生も日本を発信するアンバサ  
ダーに
- MOOCs導入による講義の国際標準化
- 国際協働PBL
- パートナーズプログラムの実施

## ③ 日本の英語教育を改革

- 日本人学生・留学生主導によるイ  
ングリッシュビレッジの開講
- 小中高校教員への英語教授法指導  
（ティーチャーズセミナー）
- 上記作業を通じ学生の企画・運営  
力強化
- 秋田県「あきた発グローバル人材  
育成推進事業」と連携

## ④ 国際ベンチマーキング

学内の取組を海外トップリベラルアーツカレッジと比較・検証  
CLA結果の分析・比較、カリキュラムの検証、教職員能力強化・人事制度

大学の世界展開力強化事業  
（応用力、実践力強化）

課題発見/解決力、異文化協働力、多角的分析力、  
交渉力

グローバル人材育成推進事業  
（学修・教育力強化）

学修支援体制の強化と能動的学修の推進、教員交流  
による教育力強化

全て英語の講義、1年間の海外留学必修、コースナンバリング、GPA制度と厳格な留学単位互換管理、少人数教育、  
秋入学、1年生は全寮生活、90%の学生はキャンパス内居住、任期制・年俸制、テニュア制、迅速なガバナンス、  
365日・24時間図書館

十年後のAIU

これからの取組

これまでの取組

# ①24時間リベラルアーツ教育の推進

## 学びあう文化の確立と深化

### ■ 特性・課題

- 全学生の90%がキャンパスに居住
- 留学生との混住
- 協働学習空間とはなっていない
- 学生からの要望

### ■ テーマ別ハウス群導入

- 学生によるテーマ設定プログラム作りと企画運営
- 18人が一棟で共同生活
- まずは5棟で立ち上げ
- 各棟に共有学習ラウンジ
- 例：メディアハウス、日本文化ハウス、Diplomatハウス
- 内外の講師陣による講義
- 留学生との協働
- 学期末のテーマ別ハウス発表会
- リーダーシップ強化

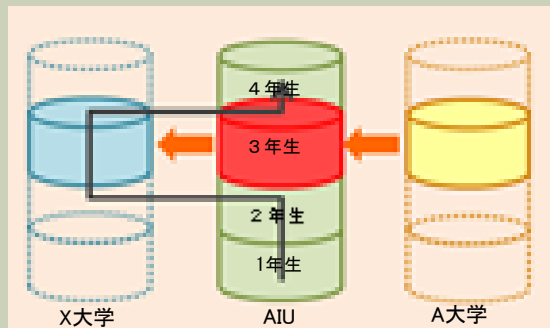


## ②世界標準カリキュラム

### 世界標準に向けた科目調整・科目整備

#### ■ 特性・課題

- 全科目英語
- 留学生と本学学生が同じ授業を履修
- 主に3年次に海外留学
- 留学生割合は25%
- 留学生にとって単位互換可能な講義の質・量の充実



#### ■ 国際標準化による科目群のシームレス化

##### ① 英語で日本を勉強する日本学修センター

- 単位互換可能科目の充実
- 日本に留学する動機・意義
- 日本を世界に発信するアンバサダー養成

##### ② MOOCs導入による講義の国際標準化

- 海外トップスクールの講義を本学の通常授業に

##### ③ 国際協働PBL

- 大学の世界展開力強化事業の進化形

##### ④ パートナーズプログラム

- 海外提携校との協働科目の提供

# ③日本の英語教育を改革

## 英語教育における知見の還元

### ■ 特性・課題

- 全て英語の授業
- 卒業時TOEFLの600点以上達成率は約40%
- 県内外から英語教育への支援要請
- アドホックな対応

### ■ 日本人学生・留学生主導によるイングリッシュビレッジの開講

- 上記作業を通じ学生の企画・運営力強化
- 留学生との協働によるコミュニケーション力、交渉力強化
- 英語で英語を教えることによる英語力強化

### ■ 小中高校教員への英語教授法指導 (ティーチャーズセミナー)

- 来るべき初等教育における英語必修化への対応

### ■ 秋田県「あきた発グローバル人材育成推進事業」と連携

- 本学を拠点とする全県的グローバル人材育成の推進
- 日本における英語教育のモデル構築



# ④ 国際ベンチマーキング

## 本学の相対・客観的分析

### ■ 特性・課題

- 大学のグローバル化対応を見据えて設立
- 全て英語の授業、GPA, コースナンバリング、秋入学等
- 本学の立ち位置を相対化・客観化する作業の必要性



### ■ 学内の取組をウィリアム・アンド・メアリー大学等の海外トップリベラルアーツカレッジと比較・検証

- カリキュラムの検証
- CLA結果の分析・比較
- 教職員能力強化
- 学生支援のあり方

